

これまでの公共交通に関する取り組みについて

1. 東村山市の公共交通施策を取り巻く状況

【国の動向】

- ・ 少子高齢化が進む中、交通事業者を維持し、高齢者の移動手段の確保が課題となっている。
→法整備を進めるほか、市町村においても「地域公共交通計画」の策定を努力義務とした。

【東京都の取組み】

- ・ 令和 2 年度から、地域公共交通担当部署を新たに設置し、区市町村の地域公共交通施策の支援を強化している。

【東村山市における地域公共交通施策】

○総合計画における取組

- ・ 第4次総合計画（2011～2020）では、交通の円滑化を目指し、市内公共交通のあり方を検討すること、また市民に対してコミュニティバスの利用を働きかけるとしてきた。
- ・ 第5次総合計画（2021～2030）では、基本目標「暮らしの質の向上」の中で、「生活に必要な移動が便利で快適にでき、いきいきと暮らしている」ことをめざす姿として掲げている。

○都市計画マスタープランにおける取組

- ・ まちづくり方針（道路・交通網整備の方針）で、「既存のバスのネットワークやバス車両の充実」や「その他の公共交通網の充実」を挙げ、行政と市民、それぞれの役割をもって取り組んできた。

現在、策定作業中の都市マスタープランの中でも、交通網を整備し、交通結節機能の強化を図ることなどをまちづくりの方針の中に盛り込む予定。



市内に公共交通空白・不便地域の解消に努め、公共交通ネットワークの充実を図ってきた。

- ★コミュニティバスは、民間バス事業者が運行するバス路線を補完し、地域の足として、住民のニーズに合った交通手段となることを目指すもの。

○市内コミュニティバスの導入経過

年 月	路線名	内容
H15年1月	東村山駅東口～多摩北部医療センター～ 新秋津駅路線（1路線2系統）	開通
H20年2月	久米川町循環・諏訪町循環	開通
H20年2月	東村山駅東口～多摩北部医療センター～新 秋津駅路線	停留所増設 ダイヤ改正
H22年4月	諏訪町循環	発着場所変更 運行経路変更
H26年3月	久米川町循環	ダイヤ改正
H26年6月1日	全路線	運賃改定
H28年8月	久米川町循環	停留所増設
H28年9月	東村山駅西口～久米川駅南口路線	実証運行開始
H29年9月	東村山駅西口～久米川駅南口路線	本格運行開始
H30年10月～ R2年3月	ところバス吾妻循環コース市域乗り入れ	実証運行実施

【課題】

- ・道路幅員等の理由から、現在の道路整備状況では新たなコミュニティバスの路線を導入することは難しい。
- ・公共交通空白・不便地域が市内に点在している。
- ・高齢化率が徐々に上がる中、バス停までの歩行が困難であるとの要望も増加傾向にある。

3. 地域公共交通あり方検討会の設置

目的：コミュニティバス以外の新たな移動手段の導入に向け、地域公共交通のあり方について考え方を整理し、住民の需要に応じた持続可能な移動手段について検討する。

目標

新たな移動手段の素案策定（令和3年度内）